



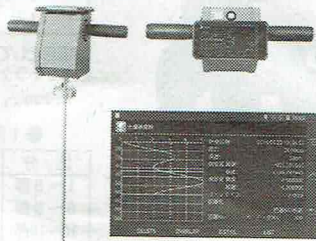
新型土壤硬度計

工業 大起理化

第2世代デジタルタイプ

大起理化工業(株) 埼玉県鴻巣市赤城台212-18・☎048(568)2500・大島忠男社長
 〓は第2世代デジタルタイプの土壤硬度計「DIK-5532」デジタル貫入式土壤硬度計を、7月1日より発売する。
 同社では2008年に、それまでアナログタイプだった土壤硬度計をデジタル化(第1世代)し、「DIK-

5531」ならびに「同5556」の2機種と専用のGISソフトウェアを発売し、この7年間で2500台の販売実績をあげている。今回発売される「同5532」は、さらなる利便性を追求し開発されており、測定データがスマホでリアルタイムに確認できるなどの特徴を持っている。
【特徴】①測定データ表示と記録装置に、自社



開発の専用アプリ搭載のスマホを使用。スマホは防塵・防水機能付で屋外での使用に最適②測定データがBluetooth通信で測定本体からスマホに送信され、リアルタイムで測定データをグ

ラフ表示できる。またBluetooth通信を利用するため従来のようなケーブル接続が必要な③データ回収は表示器とパソコンをUSBで接続してファイルを移動するだけの簡単操作。

なお、使用できるスマホは富士通製(AROWS M305)のみで、(株)富士通パソナルズと直接購入契約をした上で、硬度計専用端末としてセット販売される。

〈仕様〉▽本体電源 単2乾電池2本▽表示器電源 ニッケル水素電池(充電電池)▽データ保存件数 1千件▽通信方式 Bluetooth
 ▼ファイル保存形式 CSV
 ▼本体付属品 コーン2本 立方尺、スビンドル30・60形各1本、表示器1台(充電器含む) 希望小売価格(税抜)は47万8600円。

表示画面(右下)と本体表示画面(右上)の土壤硬度計